



## 停車時間が遅延して

平驛に乗客が殴込む

車掌が報告を忘れて

巡査が駆付ける騒ぎ

二十五日午前三時四十分常

磐線下り急行旅客第二〇一

列車が平驛に着し機関車を

附着の際前途牽引の

機関車に故障を生じ

その修理のため發車が五

十分餘遲延したのを客扱ひ

立ち果ては氣の早い乗客が

情報を知らぬ乗客一同は餘り

に停車時間の永いのに騒ぎ

専務車掌が旅客に通告する

ことを失念してゐたため事

立ち果ては氣の早い乗客が

けふお月見

秋愈よ深し

## 小豆一粒か

百圓の借金

勿來町農會が

經濟狀態調べ

常磐郡勿來農會では町内現

在の貸借關係を調査し經濟

狀態を窺知すべく種々研究

中であつたが何人とも雖も貸

金は大体申告しても借金の

申告をする者はないのと申

の程ボール箱を作製して各

戸毎に巡回貸金百圓毎に大

豆一粒を入れしめるといふ妙案

を立てた而して大小豆は必

ず主人又は家庭の事情を熟

知せるものに秘密に入れし

秋もいよいよなはとな

る

## 患者一日約千人

被保險者二萬名を有する

常磐各組合去月中の統計

大正十五年十月一日より實

施されたる健康保険法は病

氣缺勤の場合における給付

制度の内容が全然業務を廢

してゐる割合に極めて割の

よい事になつてゐるので昭

和二年一月一日保險給付の

開始以來一部

怠業氣分の労働者

中には往々假病をつかふが

如き不心得者を出す實例少

からず殊に先年常磐炭界の

暴力團が停車場へでん殴

殆んどすべてにおいて行は

勿來町農會が

經濟狀態調べ

の何人も見る事は出さず只

掛貢が總計の上で知るのみ

でそこには何等附隨的の弊害

を伴はない事となるので嘗

て類例をみざる計畫であり

何の程度まで奏効するや期

待と共に相當な興味で待たれてゐる

る

身構へたので旅客

は「層いきり立ち『打ちこ

はせたつき』と鯨波を

上げこゝに至つて妙な爭鬭

が開かれんとしたのを運転

車掌が聞きつけて仲に入り

事情を話してマア／＼と納

得せしめ幸に事なきを得た

が深夜の驛構内

一時は巡査が駆けつけた

つた

ノコ／＼歸つて來た處を捕る



里芋の胡麻

味噌かけ

材料：里芋廿個、糠少々

味淋二勺、出汁三勺、醤油一杯、胡麻味噌の分量

白胡麻盃二杯、赤味噌二十勺、味淋二勺、出汁

胡麻盃一杯、出汁

糠茶匙一杯を入れて茹ます

と白く軟かく茹ります里芋

が軟かく茹りました

上げ糠を洗ひ落しましてお

鍋に味淋、出汁、醤油を入れてから茹

てから茹ます

と白く軟かく茹ります里芋

が軟かく茹ります里芋

が軟かく茹ります里芋

朝鮮炭礦の

國稅滞納から

石城郡内郷村その他に五十

萬坪の石炭礦區を有し好況時代には相當の從業員を擁して可なりの出炭を見てゐた朝鮮炭礦は打續く經濟界の不況に最近では休山同様の有様となつてゐたところ採掘税等の直接國稅を滞納したが同署では今後もひ断然たる處分を行ふことなく苛責なく處分す。方針であると

組合被保險者休業百分率

磐城八、六〇八五、一五

入山二、六〇九五、九一

大倉一、六四八六、六〇

高萩七〇、好間五五、勿

洋威好間六、七一、四、五六

勿來六、三一、七二、六五

日立三、一七二二、六五

洋威六、七一、四、五六

セメント三一、計一、〇

五四

組合被保險者休業百分率

磐城四四三、入山一五四

大倉一〇九、三井七七、勿

來三一、日立八四、磐城

高萩七〇、好間五五、勿

洋威好間六、七一、四、五六